



六甲カトリック教会 教会報

2023

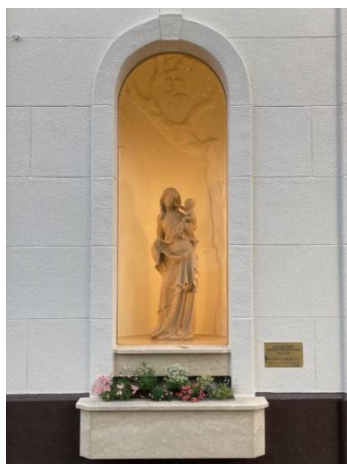
8

No. 620



教会への深い愛

主任司祭 英 隆一朗, s. j.



シノドス文書について、連載のように解説しています。2月に行われたアジア大陸シノドス文書には、印象的な表現として、「教会への深い愛」という言葉が出てきます。この言葉は1つのキーワードのように感じました。シノドスを準備している方々の熱心さ、そして、シノドスに共鳴する人びとの中にある熱意には、教会への深い愛に裏打ちされているということです。そして、「その教会への深い愛には、喜び、悲しみ、弱さ、傷など、さまざまな感情が宿っています。」

なぜ毎日曜日にミサに参加するのか、なぜ教会活動に打ち込む人びとがいるのか、それはその人びとが教会を愛しているからでしょう。逆に、教会に来ることで深く傷つくこともたびたびあります。なぜ傷や悲しみがあるのかというと、私たちに教会への深い愛があるからです。愛がなければ、傷つくことも悲しむこともないでしょう。

六甲教会に来てから1年以上が経ち、多くの信徒と接しました。多くの方に共通するのは、教会を愛しているということです。生き生きとして奉仕している方々は、教会を愛しているゆえに、それほどエネルギーが出てくるのでしょうか。時には不満や批判を述べに来る人もいますが、それも教会を愛しているからでしょう。実際のところ、この巻頭言を真面目に読んでいる人はそれほど多くないでしょう。この巻頭言を真面目に読んでいる方は、教会を愛している人だと思います。

未信徒の方や、洗礼を受けたての方から、そのような愛を感じることはあまりないです。若者からもそのような愛をそれほど強くは感じられないです。

改めて、自分自身の中の愛を確認してみましょう。まずは神をどれほど愛しているか。それほど強い愛でなくとも、なじみや親しみの気持ちがあるとよいかなと思います。神への愛が少しずつでも深まってくることが、信仰生活の一番の喜びではないでしょうか。

神への愛を基本にして、家族や仕事をどのように愛しているのか。ボランティア活動やその他の働きをどのように愛しているのかを確認してみましょう。そして、教会をどのように愛しているのかを確認してみましょう。

教会には強さと弱さ、美しいところと醜いところがあります。愛するとは、そのありのままを受けとることが含まれます。さらに、愛には喜びと平安が伴うとともに、痛みと苦しみを伴います。実際、痛みが伴わない愛は本当の愛ではないです。少しでも本当に愛を生きていけるように願っていきましょう。

お知らせですが、最近、10時のミサに車で参加される方が多いです。入りきれないときは、少し上のザビエルハウスの駐車場をお使ください。

暑い夏になりました。皆さん、どうぞお体を大切に。

2023 年度 第 2 回小教区評議会議事録(要約)

日 時 2023 年 7 月 2 日 (日) 12:00～14:00

場 所 信徒会館 第 1, 2 会議室

出席席 英主任司祭 中村助任司祭 宗行議長 松井理副議長 多田・中村両書記 松平 (宣教・養成部) 蛭田 (財務部・三日月会) 井川直 (地区会) 井川伸 (社会活動部) 大上 (広報部) 林 (施設管理部) 小田 (壮年会) 藤井 (婦人会) 吉村 (教会学校) 各コーディネータ 詫 (広報部)
以上 16 名 欠席 2 名

1. 英主任司祭の挨拶

- 1) 4 月の評議員の研修を受けて、引き続き世代交代をやっていききたい。新しく洗礼を受けた人も取り込みたい。壮年会、婦人会、青年会でもこれから教会の中核となる次世代の若い人が関われる入り口としたい。
- 2) 7/4 から来年 3 月までベトナム人神学生フォン (ピーター・ホアン・コン・フオン) さんが滞在。教会学校、中高生会、青年会、金曜日の掃除、炊き出し、SNS チーム、三日月会などと関わってもらう。
- 3) 図書係が新しくなり、4 人のチームで図書室を整頓した。1 階ロビーのカセット、CD を片付け、本を自由に出し入れできるフリースペースを作る。
- 4) シノドス会議が 10 月と来年 10 月にある。そこで指針が出たら当教会でも取り組みたい。

2. 報告事項

- 1) 教会案内リーフレットについて (詫)
教会案内リーフレットは、写真の入れ替えなど若干変更・改良し完成。現品見本を回覧し了承されれば、まず 7 月「祈りと音楽の集い」で聴衆向けに配布する。(評議会了承)
- 2) 三日月会総会・講演会(5/15)について (蛭田)
総会開催時期を 9 月から 5 月に変更した。奥野医師による講演。50 数名の参加。
9 月あるいは 11 月にも行事を考えている。
- 3) 春の黙想会(5/20)について (松平)
例年より 20%増の参加者があった。録音・録画ができなかったので次回はやりたい。
- 4) 堅信式お祝い会(5/21)について(宗行)
詳細は教会報 6 月号に記載。
- 5) 神戸地区宣教司牧評議会(6/4)について (宗行)
たかとり教会で実施。今年の役員を決定。各教会の現状の情報交換。コロナの制限はほとんどなくなった。次回 10 月実施。
- 6) 年次報告会(6/4)について (蛭田)
令和 4 年度の会計状況の説明と施設管理部からの報告。英神父のお話。
詳細は教会報 7 月号に記載。
- 7) 教会学校遠足(6/4)
詳細は教会報 7 月号に記載。
- 8) 施設管理部会より (林)
 - ・ 関電の受電設備の更新工事は 7/27 午前 9:00～午後 5:00 の予定。
 - ・ 関電電気料金の契約の更新、割引が無くなる。
 - ・ 印刷機のリース期間の終了。今後は 2 年ごとの更新になる。修理は実費になる。
 - ・ 駐車場西面フェンス工事(7/3～7/31)午前 8:00～午後 6:00。土曜日も工事を実施。
 - ・ 小聖堂前池の改修、芝を貼る。
 - ・ ベルの制御盤に関する打ち合わせ予定 7/8、9、15、16 日。設定を変えたので様子を見てから日程変更する可能性あり。英主任司祭 典礼部中西さん オルガニスト 事務大鶴さんが出席。
 - ・ 教会内のネットワーク、作業室の LAN、聖堂にサーバーをつなぐかなど SNS チームと合同で今後対応していく。
 - ・ 主聖堂と小聖堂の間の壁のコンクリート劣化が今後の課題。
 - ・ エントランスのコンクリートの補修も必要あり。
- 9) 侍者練成会 (6/25、7/2 実施) については次回の評議会でも報告する。

10) その他各部・各会より

①6/18 兵庫教会で神戸地区社会活動委員の集まりがあった。

12/2 にクリスマスチャリティーコンサートを開催するにあたり出演者を募集(8/12〆切)する。詳細は教会報 7 月号に記載。(井川伸)

②カメラータのクリスマスコンサートには、当教会のクリスマス音楽会と混同され易いので、チラシのタイトルからは六甲教会の名前は外してほしいという音楽チームからの依頼があった。(蛭田)

3. 協議事項

1) 今後の行事予定について

①六甲共同体説明会 (7/9)

受洗者 4 名、転入者 4 名参加予定。該当する地区委員は参加してほしい。今まで説明会に参加していない対象者にも参加を呼びかけている。活動グループの紹介、社会活動部(炊き出し、ともしび会、手芸部)、地区会(バザーと掃除の協力依頼)、受付係の募集など。

壮年会が食事提供。(宗行)

② 平和の集い(8/6) (松平)

③ 教会学校キャンプ(8/9～11)

兎和野高原野外教育センターで行う。大学生リーダー 3 名、OB のリーダー 3 名、食事リーダー 6 名。こども 19 名の予定。さらにリーダー、こどもに参加者を募っている。(吉村)

④中高生会キャンプ (8/17～18) 滋賀県高島市マキノステイズびわ。英神父、フオンさん、三澤さん他が引率。(宗行)

⑤青年会キャンプ(8/26～27)

⑥教会遠足 (10/21 を予定)、目的地は淡路島、徳島、姫路の 3 案の提示があり、諮ったところ賛成多数で徳島に決定した。大塚国際美術館、教会訪問または野外ミサ。予算は 1 人 10,000 円、個人負担は 7,500 円で考えている。教会 9 月号で告知し 9/3 から募集する。(藤井)

2) 地区役員会より (井川直)

①納涼地区交流会開催(8/20)についての概略

10 時ミサ後(11:30～13:30)、全地区ごと各部屋に分かれ懇親を図る。軽食、飲み物を提供する。予算 5 万円。自己紹介、クイズ、地区会の方向性の提案など。次回地区役員会(7/16)で詳細を決める。

②バザーでのキッチンカー導入について

今年は 10:00～14:00 の開催なので昼食が必要。地区役員会でキッチンカー導入の案が出たので協議を行ったところ以下の意見が出た。

- ・教会は営利活動は行わない。
- ・食事提供としては巻きずし、サンドイッチ、豚まんなど購入して提供する形もある。
- ・聖心の文化祭、夙川教会のバザーで出店があり、この時はキッチンカーの利益から場所代を献金してもらっていた。この利益から献金してもらうのは、営利活動とみなされるかもしれない。
- ・11 月実施までに検討する時間がなく、現時点では導入の決断はできない。
- ・交通整理や行列、さらに雨天時のスペースの心配もある
- ・商業ベースのキッチンカーとなるとどうしても販売単価が高くなるので、あまねく参加を呼び掛けるバザーの性格上、低単価が望ましい。

これらの意見を受け、キッチンカーの導入の可否を諮ったところ、導入しないことに決定した。昼食は、できるだけ購入したものを提供する方向性でいく。また、今年は会計チームはなくして個人的に会計係を依頼する予定。

③個人出店を試しにやってみる。個人の手作りの店やケーキ等、出店希望者を募り、材料費を除いた売り上げを献金する形にする。今回試しにやってみる。蚤の市とは違う場所を設定する。

(次回の予定)

第 3 回小教区評議会 9 月 3 日 (日) 12:00 より 信徒会館 第 1, 2 会議室
秋からクリスマスまでの行事の予定についてなど議題の予定。

以 上

納涼地区交流会開催 8月20日(日) 10時ミサ後

各地区がそれぞれの部屋に集い、コロナ禍で途絶えていた信徒間の交流を図り、親睦を深めたいと思いますので、多くの皆さま、ご参加下さい。

軽食(サンドイッチ、唐揚げ、ウィンナー) ソフトドリンク、ビールは教会から提供されます。(ビールだけは有料) 各地区持ち寄り自由です。



【各地区の部屋割】

- | | | | |
|------------|-------|---------|----------|
| ・ 灘北1・北・三田 | と | 東灘北2・芦屋 | イグナチオホール |
| ・ 灘南・神戸西 | 第1会議室 | ・ 灘西・中央 | 第2会議室 |
| ・ 東灘北1 | 第3会議室 | ・ 東灘南 | 信徒会館 |
| ・ 灘北2・阪神 | 第4会議室 | | |

どうぞよろしく

神学生 ピーター・ホアン・コン・フオンさん紹介

(Peter Hoang Cong Phuong)



神学生のフオンさんが、7月4日に六甲教会に「着任」しました。

フオンさんはベトナムの中央部 Hue City の出身。32歳で4人兄弟の3番目。ベトナムのキリスト教信徒は人口の8~9%、約900万人とされ、ホアン家は代々カトリックの家系です。フオンさんは幼児洗礼を受け、中学生の時に堅信式に与りました。将来、信仰の道へと進むことは高校生の時から考えていましたが、黙想を重ね霊操の指導を受ける中で、一度しかない自分の人生を意味のあるものにしたと考えました。はっきり神父になろうと決心したのは、大学でIT(インフォメーションテクノロジー)を学んでいた時でした。進路を決めると、大学卒業後は、イエズス会のプログラムに従い、2年間の修練後、誓願を立て、哲学を3年間学び、今は神学校入学までの中間期(3年間)にあり、いろいろ経験を積んでいるところです。

イエズス会から示された派遣先には3つの選択肢があり、日本はその一つ。2020年10月に来日し、東京四谷の日米会話学院で日本語を学び、そこでは昨年度の神学生ニティンさんと一緒でした。日本語はこれまでに語学学校で1年半学びましたが、山口の防府教会にいる間のヴィタリー神父様との対話の時間も貴重でした。また、熱心な信徒の方々の助けで毎日の朗読を読む練習をしたり、防府市役所の講座で日本語を学びました。簡単な日常会話には不自由しないようになりましたが、まだまだ社会経験も乏しいので、信徒の皆さんからいろいろ教えてもらいたいと言っています。

趣味は読書とバドミントン、好きな食べ物はお寿司です。フオンさんは六甲教会には来年3月まで滞在します。その間、ミサの奉仕をはじめ、さまざまな教会活動に参加します。

六甲教会での滞を終えた後は、東京の神学校で3年間学び、助祭叙階を目指します。

(聞き手：広報部)

《侍者任命式》

7月23日、“こどもとともに捧げるミサ”の中で、小学3年生の3人が新たに侍者に任命されました(写真)。英神父様はお説教で「泥かぶら」と呼ばれた天涯孤独で醜い上に乱暴者の女の子の話をされました。ある日出会った旅の僧から、①自分を卑下せず自信を持ち、②いつも笑顔で、③人の身になって考えること—を心がけると、いつか美しくなると言われ、そのように行った結果・・・というお話です。大人の心にもしみいるお話でした。





『いつも喜んでいなさい。 絶えず祈りなさい。
すべての事について、感謝しなさい』

(テサロニケ 5 ; 16)

好きな理由はこの言葉は、いつも自分のすぐ側に感謝するべきものがあるということを自覚させてくれ、自分のためだけではなく、他者のために祈る大切さ、感謝する気持ちの大切さを教えてくれます。嫌な事や、辛いことなどが起こった時、周りのせいにしがちですが、そうではなく今ある環境に感謝することを思い出させてくれるので私自身救われた言葉だからです。

今月の聖人 聖アルベルト・ウルタド

アルベルト・ウルタドは南米チリの人です。1901年に生まれ1952年8月18日にすい臓がんで亡くなり、その日が記念日となっています。ベネディクト 16 世によって列聖。比較的新しい聖人です。貧しい環境のなかで、首都サンティアゴの聖イグナチオ学院で学び、その後スペイン、アイルランドに渡り勉強を続け、ベルギーで司祭叙階を受けました。チリに戻ったウルタドは母校イグナチオ学院で教鞭をとり、黙想会を育成、また極貧の人々のために「キリストの家」を建て、ホームレスや病人に宿を提供しました。貧困社会を直視し、短い一生のなかで精力的に働き、信仰にもとづいた社会の改善に力を注いだ人と言えます。2005 年ベネディクト 16 世は第 11 回シノドス閉会の挨拶のなかで、ウルタドの功績を縷々述べています。



(詫 洋一記)

社会活動部ボランティアグループ紹介（8）手芸クラブの活動

手芸クラブでは、毎月第 1 水曜日 10 時からお昼を挟んで 2 時ごろまで作業をしています。作るものは、布の小物、フェルトの飾り、クリスマスオーナメント、刺し子布巾、エプロン、割烹着など多岐にわたります。

布小物などはパッチワークやアップリケなど手の込んだものを考えて作っています。ランチョンマットもパッチワークでデザインを考えて作っています。百均などでいろいろなものが売られていますが、バザーでは、手作りの物を目当てで来てくださる方がたくさんいらっしゃいます。街中で売られているものを見て考えたり、できるだけオリジナルのデザインを考えて作っています。

フェルトの小物は「スヌーピー、ミッフィ、ラッキーチャーム、ムーミン」などです。学生さんのカバンなどには自分のものを区別するためにつけているのを見ます。またエプロンや割烹着などは年中需要があり、洗濯に耐えるよう丈夫に縫っています。刺し子も昔からあるデザインでなく、カラフルなデザインで作っています。原材料の晒が値上がりして大変ですが、大人気ですので据え置きのまま頑張っています。

8 月はお休みですが、9 月第 1 水曜日 10 時からですので、ご興味のある方はぜひ見学においでください。（北上千恵子）



数々の作品

新たな広報チーム：「SNS ワーキンググループ」の活動

「SNS ワーキンググループ」は、教会の新たな広報チームとして、ソーシャルネットワークサービス（SNS）を通じて、教会の魅力を多くの方々にお伝えする活動を行っています。

ソーシャルネットワークサービス（SNS）とは、ツイッター（Twitter）やフェイスブック（Facebook）といったオンライン掲示板のことです。教会で行われた行事の様子などを、映像や文字で発信しています。双方向ですので皆さんも何か書き込んでください。

私たちは最近、新たな試みとして、福音書の朗読や司祭による説教を録画し、それらをユーチューブ（YouTube）というインターネットのサイトで公開する取り組みを始めました。この取り組みの目的は、教会に足を運ぶことが難しい方々にも、教会の雰囲気を感じていただき、信仰を深める機会を提供することです。ミサの時に後ろのほうでビデオカメラを構えている人たちは、そのための撮影係です。何卒よろしくお願い申し上げます。

これからも私たちは、皆様とともに信仰の道を歩み、教会の幕屋を支えていくために、新たな手法を活用した宣教の方法を模索し続けます。皆様の日々が神さまの恵みで満ち溢れますように。

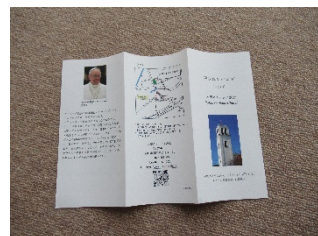


左の四角い模様は「QR コード」です。これをスマートフォンのカメラで読み取ると、福音書の朗読や司祭による説教の録画映像が視聴できます。

また、「六甲カトリック教会」でインターネット検索をしていただくことでもご覧いただけます。「SNS ワーキンググループ」の活動に参加を希望される方は、教会事務室を通じてお申し込み下さい。（高木昌要）

ようこそ六甲教会へ =教会案内リーフレットが出来ました=

教会ってどんなところだろう。…と人々は思っているかも知れません。そんな人たちのために新しい教会案内リーフレット（写真）を作成しました。A4版の三つ折りのものです。



「呼ばれています いつも」とタイトルのことばは典礼聖歌 409 番からとりました。「いつでも教会にお越しください。六甲教会はこんな教会です。」と写真やイラストを添えてやさしく説明しています。お知り合いの方で教会に関心をお持ちの方など、広くお使いいただければさいわいです。（広報部）

社会活動部 今月の予定

8月は、炊き出し、手芸、ともしび会 すべてお休みです。

8月、9月の教会コンサート情報

・聖母被昇天ミニコンサート

8月15日（火）10時ミサ終了後

20分程度の小さなコンサートです。オルガン 清水真理子

F. メンデルスゾーン ソナタ第1番 op. 65 F. リスト めでたし海の星 S. 669

・祈りと音楽の集い

9月3日（日）14時

風と弦のしらべ 甲斐弦也（オルガン）・北島里枝（ヴァイオリン）

モーツァルト バッハ フレスコバルディ 他



〇〇〇みんなの広場〇〇〇

「何か大きな力」それは？

世の中は自分の意志どおりにいかないことだらけですよ。呼吸するにも、バイ菌と戦うことも、消化や心臓を動かすことも…。自分の身体ですら意識外のできごとです。

大げさに考えると、地球が宇宙に浮かんで規則正しく運行していることや、そもそもなぜ心臓が動いているのか、そのわけを説明できないそうです。

日々暮らす中で、思い通りにならないことを嘆くより、まず自身が変わることが要請されます。確かにそうなのですが、何か大きな力が働いていると感ずることがあります。パートナーが死の淵から帰ってきた事実が、私の中では大きな出来事です。

いえ、それより一つの卵子に1億分の1の確率で一つの精子が結合して自分がこの世に生まれてきた奇跡、そんな奇跡なら数限りなくある一なんて、まるで「厨二病」みたいな考えが頭をよぎります。そこで、どうしても創造主である神の存在を認めざるを得ません（「認めざるを」などと、ちっぽけな頭で僭越を言っていました）。

古希を目前にして、急に身体が動かさなくなってからというもの、思い起こすことが増えました。今までお年寄り（自分も例外ではないのですが）がゆっくり動作するのを目の当たりにして、思いやりが足りなかったことに気づいたり、痛みがあることで何らの欠陥に注目したりと、有難い経験を積んでいます。

先に言った「何か大きな力が働いて」で身近に思い出すこと、あと二つ。

一つは、危険がある場所に向かうその時、身体中の血が逆流したような「ぞわぞわぞわ」と第六感が働いたこと。

もう一つは、道に外れた行動を起こそうと意識したときに、なぜか邪魔が入って遂行できなかったこと（これは一回や二回ではない）。衝撃的な告白と言っても良いかも知れませんが、もう何十年も前のコトなので時効ということにしてください。（マルガリタ・マリア岩田聖代）

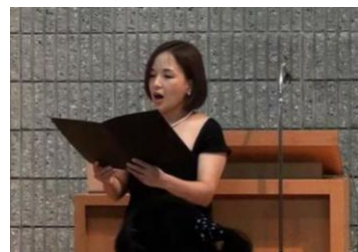
祈りと音楽の集い 久保田真矢さんの演奏を聴く



7月16日（日）午後2時より、祈りと音楽の集いが開催されました。

今年度初めての今回は、オルガニストの久保田真矢さん（写真左）をお迎えし、バッハを中心とした素晴らしい演奏と共に豊かな祈りの時間を過ごしました。当日は梅雨時にも関わらず青空の広がる良い天気で、150人近くのお客様がいらして下さいました。コロナ禍の影響により皆で一緒に集まれない期間が長く続いた後だけに、これだけ多くの

方にお集まりいただけたことはとても嬉しいことで、皆様が「祈りと音楽の集い」に関心をお寄せ下さっていることを実感しました。そして何よりも、久保田真矢さんの演奏には、どんな時にも誰の心にも自然と寄り添ってくださるような温かさを感じました。オルガンという古来より伝わる楽器で、昔のヨーロッパで作られた音楽を今の日本で演奏するということは、懐古主義のように思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、やはり現代を生きる私達にとっても祈りと密接に関わっているのだということが、説得力を持って迫ってくる演奏でした。コラール作品では、演奏前にその曲の基になった讃美歌を、当教会の西川葉さん（写真右）が歌って下さいました。美しい歌声が響き、こうして祈りのことばを聖堂で聴くことができる喜びをかみしめました。終演後には英神父様よりお話がありました。「音楽から始まる祈りというものがあるのも良いのではないか」とおっしゃられたその言葉に、音楽の持つ祈りの力を改めて認識し、教会の音楽に奉仕する者として一層励まされた思いです。これからも一人でも多くの方が、信じるもののために祈ることができますように。（松井公子）



六甲春秋 ベトナム初訪問

7月17日から22日まで、生まれて初めてベトナムに行ってきた。その間、福音の光修道会のシスター・ヴァンに大変お世話になった。今の感想はただ、「驚いた」の一語につきる。岩国教会に私がいた時以来の御縁によって、彼らの誓願式に招かれたのだ。先ずホーチミン市の国際空港に近い修練院に二泊した。私が何に驚いたかという、まず食事だ。朝食から肉も魚も出る。カツオの厚い輪切りの煮込み、なかなか噛み切れない牛肉の小片入りのスープ。そこに各種の野菜類をいれ、また辛いソース類も幾つかある。また不思議な果物が出され、それぞれの食べ方もある。とにかく現地の食事の甘さ・しつこさ・辛さに慣れる必要がある。街の通りはどこにもここにも幾百の、幾千のバイクで溢れかえり、忙しく行き交っている。自動車の運転は何と65歳までとのこと。

そこに滞在している時に、イエズス会の修道院を訪れたが、大きな公園のような有様で、40人もの若い会員が司祭叙階を目指して神学・哲学に励んでいるとか、驚き入るばかり。嬉しいことに、日本に来る予定のベトナム人の会員にも会えた。その夜、少しためらいがあったが、シスターが運転するバイクの背中にしがみついて、近くのデパートに夕食に出かけた。そこには日本でなじみの商店も多く、吹き抜けの10階以上もある大きな建物だったが、その地下駐輪場に絶えず出入りするバイクの多さに仰天した。

二日後の誓願式に与るため、車で一時間ほど離れた別の修道院に移動した。当日、その教会の大きさ広さに圧倒された。その地域には多くのキリスト者が住み着いていることから、50人を越える司祭たち、何

百人もの修道女たち、何十人の侍者たち、また多くの家族・親類縁者たちが一堂に会して、司教様の司式のもとに、誓願のミサが荘厳に執り行われた。式にはこの小教区に所属する若



者や学生もこそって参加し、信仰の在り方や修道召命を考える良い機会になったのではと思われる。誓願式には日本から、高山親神父と平林冬樹神父と私、兼松夫妻、光の園摂理の家・園長の向井夫妻が参加した。

この会はベトナムでは、ささやかな活動（幼稚園、託児所、針と灸の施療院など）を息をひそめるようにして行っている。それというのもベトナム戦争後は社会主義の体制になっているため、宗教活動は許されず数々の規制を受け、また公安警察の立入検査を恐れている。しかしながら日本における同会には全く召命や入会はなく、年寄りばかりが十数人、老いと病を抱えて地御前の地に唯一の修道院を持っている。しかしベトナムの修道院を、経済的に大きく支えているようだ。かたや若い会員に恵まれ、為政者のきびしい監督や規制に耐えながらも、すでに40人を越える最終誓願者を抱える同会は、どのような将来図を描けばよいのか、大きな決断の時を迎えている。幸いにも8月の初めごろに総会が開かれ、今後の事を決めると聞いている。願うらくは、明るい未来を拓く果敢な決定、並びに新しいベトナム人の総長の選出による新たな門出を待ち望んでいる。

中村健三 合掌

註：地御前 安芸の宮島に向き合って建つ神社。

【2023 年 8 月行事予定表】

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
					初金曜日ミサ 7:00 10:00 聖体顕示 10:00 ミサ後 ◎灘北 2・阪神	
6	7	8	9	10	11	12
主の変容 平和を祈る つどい 16:00～			教会学校 キャンプ ～11 日	聖ラウレンチオ 助祭殉教者	教会受付休み ◎灘北 1・北・ 三田	
13	14	15	16	17	18	19
年間第 19 主日		聖母の被昇天		中高生会キャ ンプ～18 日	◎大阪シナピス	
20	21	22	23	24	25	26
年間第 20 主日 納涼地区交流会				聖バルトロマイ 使徒	◎灘南・神戸西	青年会キャ ンプ～27 日 ◎土曜班
27	28	29	30	31		
年間第 21 主日						

◎は掃除当番地区です。(悪天候により朝 7 時の時点で警報等の発令があれば中止します。)

【編集後記】

- ◆最高気温が 35℃以上の日を猛暑日と言うそうです。各地で猛暑日が続きます。大雨、猛暑、そのあとは台風…。このところ不気味な地震も散発しています。天地創造の神のお怒りなのでしょう。しっかりした防災と助けあいが望まれます。
- ◆8 月は平和旬間の月です。「争いのあるところに許しを、疑いのあるところに信仰を」…。アッシジの聖フランシスコの祈りを、いまこそかみしめましょう。(余)

・次回 9 月号の発行は 9 月 2 日(土)です。 原稿は毎月 15 日ごろまでに、教会受付へ直接 ご持参いただくか、FAX、メールでお願い致し ます。(renraku@rokko-catholic.jp) 皆さまからのご寄稿をお待ちしています。 ・教会 SNS チームは、フェイスブック、インスタグラ ム、ツイッター、YouTube チャンネルで配信して います。「六甲カトリック教会」で検索してくだ さい。	六甲カトリック教会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21 電話 078-851-2846 FAX 078-851-9023 http://www.rokko-catholic.jp 発行責任者 英 隆一朗 編 集 広 報 部
---	--